

第2回鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会（2022.11.28）意見概要

No.	議題	資料番号	項目	委員からの意見	事務局の回答・方針
1	実績報告書【詳細版】	①	—	誰が評価したのか。	各施策の担当課で評価を実施しました。
2	実績報告書【詳細版】	①	—	評価が「C」「D」であっても、事業の方向性が「→（継続）」となっているのはどういった趣旨か。	事業の方向性は、現状と比較した方向性ではなく、当初の計画から比較した今後の事業の方向性を示しています。
3	実績報告書【詳細版】	①	1-2 認知症施策の推進（重点施策）	「チームオレンジの設置に向けた関係機関への働きかけを行います」という記述があるが、チームオレンジとは何か一般市民には理解できないのではないか。実績報告書は、一般市民も理解できるような書き方が必要。チームオレンジについての簡単な説明を付記したほうがよい。	10ページの「（2）認知症本人とその家族への支援の充実 2 認知症バリアフリーの推進とチームオレンジの仕組みの構築」の「主な取組」に注釈を記載しました。
4	実績報告書【概要版】	②	—	表の字が小さすぎて読みにくい。	フォントサイズを大きくし、読みやすいように修正いたします。
5	日常生活圏域ニーズ調査	③	—	自分の住まいが5地域のどこにあたるのが答えやすいように、また集計する側も地域ごとの実態把握を集計しやすいように、鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄から選択できるように設計したほうがよい。	地域については、調査票にあらかじめ地域名を記載し、回収した際に判別できるようにする予定です。
6	日常生活圏域ニーズ調査	③	問1（2）下段	【（2）において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】との表現がわかりにくい。 【「2…」「3…」の方のみ】の方がストレートでわかりやすい。	ご指摘の項目は、厚生労働省が設定している質問項目であるため、設問の文章自体を変更することが可能か、厚生労働省に確認のうえ対応いたします。

No.	議題	資料番号	項目	委員からの意見	事務局の回答・方針
7	日常生活圏域ニーズ調査	③	問5（1）	⑤濃い部分「⑤の赤字部分には、…名称を入れて調査します。」の内容が読みづらい。	ご指摘の吹き出しは、「問5（1）⑤」の各市町村によって入れる具体的な通いの場の名称の説明になっており、配布の際には削除いたします。
8	日常生活圏域ニーズ調査	③	—	アンケートの調査対象が、一般高齢者と要支援・要介護認定を受けている人になっており、介護サービスを受ける側の意見を集めるだけになっている。よりよい保健福祉計画を策定するには、介護サービスを受ける側だけでなく、施設等サービスを提供する現場の課題等も収集して解決していく姿勢が必要であり、施設側にもアンケートを実施するのがよいと思う。今回は無理でも、次回から介護サービスを提供する側にもアンケートを実施することを検討していただきたい。	介護現場側への調査として、介護人材に関する性別・年齢別・資格の有無別などの詳細な実態を把握し、介護人材の確保に向けて必要な取組等を検討するための介護人材実態調査が厚生労働省からオプションとして示されています。この調査の実施については、今後検討してまいります。
9	鎌倉市独自質問項目	⑤	1（2）外出の促進に向けたニーズの把握に関する質問	スマホの利用について、スマホ決済の利用など、電話やメール以外での利用状況を聞くと参考になるのではないか。	委員会での皆様のご意見を踏まえ、検討したいと考えています。
10	鎌倉市独自質問項目	⑤	1（2）外出の促進に向けたニーズの把握に関する質問	運転免許の返納について、返納の有無を聞くだけでなく、何歳くらいで返納したか（又はしたいか）を聞いてはどうか。	委員会での皆様のご意見を踏まえ、検討したいと考えています。 なお、現在実施している運転免許証自主返納者に対する支援事業の申請者の年齢は把握できています。
11	鎌倉市独自質問項目	⑤	1（2）外出の促進に向けたニーズの把握に関する質問	「楽しいと思う場所」が何か、しっくりこない。	委員会での皆様のご意見を踏まえ、表現を検討したいと考えています。
12	鎌倉市独自質問項目	⑤	1（2）外出の促進に向けたニーズの把握に関する質問	鎌倉市のサービス「5. 地域貢献バスモデル事業」とは何か。	地域貢献バスモデル事業とは、地域公共交通の1つとして、社会福祉法人で所有している送迎バス等を活用し、幅広く高齢者等の移動の足を確保し、外出しやすい環境を創出することを目的とした事業です。平成31年4月から事業開始し、現在、鎌倉プライエムきしろ、稲村ガ崎きしろ、ふれあいの泉の3施設が実施しています。選択肢として残す場合は、注釈を記載します。

No.	議題	資料 番号	項目	委員からの意見	事務局の回答・方針
13	鎌倉市独自 質問項目	⑤	1（2）外出の促進に 向けたニーズの把握に関 する質問	【「8. 利用していない」方以外の方のみ】との表現がわかりにくい。 【利用している方のみ】の方がわかりやすい。	ご指摘の項目は、厚生労働省が設定している質問項目に合わせた表現としている ため、厚生労働省に確認のうえ対応いたします。
14	鎌倉市独自 質問項目	⑤	1（3）地域包括支援 センターの認知度に関する 質問	担当の地域包括支援センターが住所によって決まっているということが、意外とわから ないことが多いように思う。できれば追加質問として、「1 利用したことがある。又は、 現在利用している。」と答えた方に満足度を聞いてみたい。	委員会での皆様のご意見を踏まえ、検討したいと考えています。
15	鎌倉市独自 質問項目	⑤	2 在宅介護実態調査 に追加する質問項目	「困ったとき」に限定しない聞き方がよいのではないか。	「自分自身の暮らしについて」といった表現に見直します。
16	鎌倉市独自 質問項目	⑤	2 在宅介護実態調査 に追加する質問項目	相談できる人の選択肢が家族関係者だけに偏っているため、家族関係者以外の 選択肢を加えた方がよい。	家族関係者以外の選択肢を追加いたします。
17	鎌倉市独自 質問項目	⑤	—	時間的余裕があれば、自由記入欄を設けることも実態把握に役立つことが多いと 思う。	「最後に御意見があればご記入ください。」などの自由記述欄を設けることを検討し ます。